

令和5年度事業報告について

(公社) 雲南市シルバー人材センター

1 事業活動の概要

令和5年度 我が国の経済については、コロナ禍の3年間を乗り越え、社会経済活動の正常化が進みつつある中、30年ぶりとなる高水準の賃上げや、企業の投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、政府では経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えているとしています。

賃金の上昇は輸入品価格の上昇を起点とする物価上昇に追い付いていなく、個人投資や設備投資は、依然として力強さを欠いている。これを放置すれば再びデフレに戻るリスクがあり、潜在成長率（生産活動に必要な全要素を使った場合、供給能力をどれだけ増大させられるかを示す指標）が0%台の低い水準で推移しているという課題があるとしています。

このため、政府はデフレ脱却の為の一時的な措置として国民の可処分所得（収入のうち、税金や社会保険料を除いた所得）自分で自由に使える手取り収入を下支えするとともに、構造的賃上げに向けた供給力の強化を図るため「デフレ完全脱却のための総合経済対策」を策定しました。

人口減少に伴う労働力不足もあり、多くの企業が定年後のシニア世代を非正規社員として再雇用してきましたが、コロナ禍で今後の経済状況が不透明になり、シニア世代に限らず被雇用者全般に対する企業の目線がシビアなものへ変化しています。コロナ禍を機に従来の働き方を見直し、担当職務を明確にした上で採用を行うジョブ型雇用（適応能力がある人だけを雇用する少数精鋭主義）に移ってきています。

企業へのシルバーの派遣事業も前述した事由もあってか、合理化が図られ派遣切りも起こり求人が減って、派遣件数・契約が大きく落ちました。

この状況を払拭すべく、担当職員による積極的な企業・事業所訪問、また理事の皆さんのあいさつ、企業訪問を行っていただいた結果少しずつ受注件数が上がってきました。

中長期的な視野では、日本の出生率から、労働人口の減少は確実です。『働く人の5人に1人が60歳以上』という時代ですが、今後の経済は大企業非製造業の景

況感は改善傾向がみられ、求人倍率は再び上がっていくことが予想されています。

新型コロナウイルスの影響はまだまだ幅広い業界で大きな打撃を被っていますが、人手不足は深刻化しています。企業としてもシニア人材を新たな労働力として期待する一方で、生産性向上にいかに関わり付けるべきかと悩んでいます。

当センターの事業実績は、下記に記述しますとおり一時的に会員数及び契約金額とも平成 27 年度には下げ止まりとなり、令和元年度以降 会員及び役職員の努力はもとより、地域の皆様、行政をはじめとする関係機関のご支援により計画目標の伸び率に乘りましたが、コロナ禍の影響からか受託事業は 101.4%の増、派遣事業は 90.3%と落ち込み全体としては低調な事業実績で年度が終了しました。

また、安全就業については、安全第一の就業を目指していましたが、残念ながら 4 件の事故が発生しました。

地区担当者と無事故就業対策について協議し、再発防止の徹底を図りました。特に令和 2 年度から始めた伐採・剪定作業の『ライセンス』更新の会員さんの事故発生もあり再度講習会を開催し、該当する会員全員の安全就業の徹底を図っています。

通常は除草・草刈り・剪定作業において、会員自ら『就業前の安全点検表による点検・点呼・確認、』の安全自主点検を行い安全意識をもって就業し、傷害事故を無くすことを主眼に取り組んでいます。

インボイス制度の導入の当センターの対応は

①『料金（請負等代金）の値上げ』発注者に負担いただく方法を選択しました。

令和 5 年 4 月 1 日から事務費率 10%から 12%に改定しました。

令和 5 年 10 月 1 日からインボイス制度(適格請求書保存方式)導入により新たな経費負担が生じ、①の方法で対応するにあたり、発注者の理解を得るためこれを契機に当センターとしても、的確な就業会員配置による仕事完成度の向上、依頼から契約・着工までの期日短縮、アフターサービスの充実など発注者に満足いただけるような付加価値を付けたシルバー事業としました。

今後、先述したように国内外の社会経済情勢は全く予断を許しませんが、高齢化社会の受け皿となるシルバー事業を今後ますます発展させていくためには、公益社団法人として市民の目線に立ち、多様化する社会的要請や企業要請などの社会経済環境の変化に的確に対応していくことが重要となります。

今後とも、安全就業を第一とし、派遣事業の積極的な取り組みなど国の施策の

動向を注視し、県連合会及び近隣のシルバー人材センターとの情報を密にしながら就業機会の拡大を目指し、お客様に「安心と信頼」される魅力あふれるシルバー人材センターを構築していく必要があります。

以下、令和5年度において実施した事業の概要を報告します。

2 事業実績（10年の軌跡）

（数値は、請負・委任と一般労働者派遣事業を合計した数値）

年度	会員数 (人)	粗入 会率 (%)	就業延 人員 (人)	就業率 (%)	受託 件数 (件)	契 約 金 額 (千円)			
						計	公共 関係	企業 関係	一般 家庭
26	344	1.9	24,057	92.4	4,193	127,571	26,242	50,540	50,789
27	370	2.1	23,561	90.5	4,231	130,541	26,889	53,354	50,298
28	373	2.1	24,913	89.2	4,259	139,737	30,476	57,273	51,988
29	391	2.2	26,656	91.6	4,420	147,194	29,412	66,243	51,538
30	414	2.4	29,580	90.6	4,627	170,190	42,677	76,940	50,573
元	428	2.5	33,458	87.1	4,620	198,225	47,240	98,806	52,209
2	436	2.5	32,523	83.7	4,544	194,807	58,694	85,910	50,203
3	454	2.6	35,805	88.1	4,601	205,085	60,635	95,042	50,616
4	466	2.7	37,638	89.4	4,759	226,758	64,083	107,067	55,608
5	458	2.8	36,072	93.0	4,788	221,909	66,824	98,397	56,680
前年度比較	98.2%	+0.1	95.8%	3.6	100.6%	97.9%	104.3%	91.9%	100.1%

3 実施報告

（1）安全・適正就業について

1) 事故発生状況

・安全就業推進実施計画に基づき、安全な就業は全てに優先し、労働関係諸法規の法令を遵守し、安全・適正な就業に努めましたが、物損事故が2件、傷害事故が2件発生しました。

1件目、2件目の物損事故は駐車中の車への小石飛散事故、3件目は丸鋸を組み込んだ自家製の切断機で切断作業中誤って左手親指が丸鋸に当たり折傷、4件目

は、剪定の作業クズを運搬車に積み込んだ後、車から降りる際に後方に倒れ込み、腰と後頭部を強打する事故が発生しました。

2) 安全衛生管理委員会

・元年度からシルバー派遣事業における安全衛生管理について基本的な事項を定め、シルバー派遣会員の安全と健康を保持するとともに、災害及び事故を未然に防止することを目的とする衛生委員会を設置して、1回/月の衛生委員会の開催し協議を行っています。

また、現在コロナ禍にあるため産業医の先生のご指導の下コロナウイルス感染症またインフルエンザの予防対策等情報を、会員の皆さんに引き続き情報提供を行いました。

(取組)

- ① 安全指導推進員による安全パトロールの強化（25回）
- ② 班会で安全就業講話及び就業に関する危険作業や偽装請負の自主点検について意見交換を実施
- ③ 公平な就業機会の推進（ローテーションの推進）
- ④ 事務局だより（2回発行）による安全就業の奨励
- ⑤ 安全・業務委員会による現場パトロールの実施（3回）
- ⑥ 安全衛生委員会の開催、職場の安全衛生巡視、産業医による健康対策

(2) 会員の増強について

会員の拡大は、当センターの最重要施策として取り組み、多様な発注ニーズに対応するため、下記の運動を積極的に取り組み会員の確保に努めています。

新規会員は56名、また病気や家庭事情での退会者が64名あり、今年度末の会員数は前年の466名に対し458名と8名の減となった。

(取組)

- ① 入会説明会を月2回開催（説明会参加 65名）
- ② 一会員一人勧誘のロコミ運動
- ③ 後期高齢者等及び加入時期に配慮した会費制の導入
- ④ 市内各交流センターへ事務局だよりの配布

(3) 就業機会の拡大について

就業拡大は、会員拡大と併せて当センターの最重要施策として取り組みました。会員及び役職員は「みんなで開拓、みんなで就業」を基本とし、次年度以降もあらゆる機会をとらえて就業開拓に積極的に取り組みます。

(取組)

① 就業開拓推進員（兼務地域連絡員）を6地域に7名配置

② 役職員等による年末年始の企業訪問（約35社）実施

③ 派遣事業への積極的な取り組み（専属職員を配置）

（受注件数 62 件 就業延べ人数 9,224 人日）

④ シニア就業相談会の開催

（4/12 木次、7/13 加茂、11/17 木次、2/27 木次）

⑤ 指定管理者制度（創生館、掛合体育館及び野球場）の継続受託

⑥ 行政機関等に対し令和6年度の予算要望、委託事業の確保の要望活動

（令和6年1月17日には石飛雲南州市市長、狩野健康福祉部長他1名に、また、同日 矢壁・白築正副議会議長への予算要望と意見交換を行った。）

(4) 普及啓発の推進について

広く雲南市民に対し、シルバー事業の理念、意義、事業活動状況を地元テレビや新聞、一般研修、ボランティア活動を通し、会員拡大や就業拡大の普及啓発に努めた。

(取組)

① 市内11か所で203名の会員が参加しボランティア作業を実施

② 毎月ケーブルテレビ等地域の媒体を活用した普及啓発を実施

③ ホームページ及び自治体の広報誌、新聞を活用した普及啓発を実施

④ 会員を対象とした講習会を開催

・剪定講習会（実技）（R5年11月20日 参加者 会員19名

於：大東公園子ども広場）

・剪定伐採作業就業資格取得安全講習会（R5年度 3回開催）

（参加者 6名 於：シルバー人材センター）

・除草（刈払い機）取り扱い安全講習会（座学のみ）

（R5年12月4日 参加者 会員9名 於：シルバー人材センター）

対象者；剪定、伐採作業従事者、新人の方、剪定クズの寄せ方のみの方、運搬のみの方

- ・草刈り作業就労資格取得安全講習会（R5年度9回開催）

対象者；草刈作業従事者、新人の方、草の寄せ方のみの方、車両の監視のみの方、草の運搬のみの方

- ・剪定・伐採作業就労資格更新講習会

対象者：剪定、伐採作業 有効日が令和6年3月31日までの方

（1/19 参加者 16名 於：大東交流センター）

（2/5 参加者 23名 於：一宮交流センター）

（2/19 参加者 14名 於：シルバー人材センター）

（3/11 参加者 14名 於：シルバー人材センター）

- ⑤ 「利用者アンケート」調査を実施(90%以上の方が総合的に満足と回答)

（5）財政運営の健全化について

平成23年度に策定された財政健全化指針に基づき財政基盤の強化を図っています。

令和5年度も引き続き指針を踏まえ、効率的な財政運営に努め、積極的に就業拡大を図る一方、市当局に対し財政支援及び委託事業の拡大を要請するなど財政基盤の安定化に努めました。

（取組）

- ① 派遣事業（新規9事業所）の積極的な取り組み

（参考：新規事業所）

社会福祉法人 萌友福祉会・さくらの里 株式会社・合同会社 なごみ苑

- ② 雲南市長及び市議会議員長へ補助金の確保、及び委託事業の拡大に対する支援の要望と意見交換の実施

- ③ 効率的な財政運営

（6）組織の充実について

センターは情報発信基地であり、情報の共有化を図るため、各種会議を開催し組織体制の強化・課題解決のために開催を促したが、コロナ禍にあるため思うように開催できなかった。

(取組)

- ① 理事会（7回）及び専門委員会（3回）の開催
- ② 安全衛生委員会開催（1回／月，職場の安全巡視）
- ③ 各地区班会（8か所）の開催
- ④ 事務局長会議及び安全就業・会計事務研修会等リモートでの参加